

O歳からの立腰・体幹遊び®

い<mark>じめ、不</mark>登校、暴力行為、骨折、発達<mark>障害、アレルギー等日本の子供の憂慮すべき</mark> 現況の克服→

教育、子育でに関する縦割り、前例踏襲主義を排し、こども庁施策の一つの柱に

人間形成の礎石となる「三つ子の魂」を育むことが必須! 森 信三先生

「日本は2025年に下り坂を終え、再興する」

公益社団法人マナーキッズ。プロジェクト 後援:スポーツ厅、日本商工会議所他 令和3年8月22日

# こども庁創設に関する要望事項案

いじめ、不登校、暴力行為、骨折、発達障害、アレルギー 等日本の子供の憂慮すべき現況の克服 教育、子育てに関する縦割り、前例踏襲主義を排し、 こども庁施策の一つの柱に

人間形成の礎石となる「<mark>三つ</mark>子の魂」を育むことが必須!

「0歳からの立腰・体幹遊び」で身体も心も健全に!

令和3年6月4日

公益社団法人マナーキッズ。プロジェクト

1

2

# 提案の具体的内容

To歳からの立腰・体幹遊び」講師養成院習会の開催(別紙参照) 立腰(腰骨を立てる)、姿勢・狭移、体幹遊び、「マナーキッズ」関べ、食と健康(健康の 健は5歳位までに決まる腸内細菌)、日本の伝統的な子育てへの回帰(離乳の時期) という内容の「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会を保育園保育士、幼稚園、

ハ学校教諭、スポーツ社事者、保護者等対象に開催する。 日本の伝統的な美しい姿勢・挟捗を祖父母世代、親世代が知らない。まずは、閣僚及 び<mark>国会議員他に対して、美しい姿勢・挟捗の勉強会の開催。</mark>

### 5年・10年後の数値目標の設定

- 所属等で何んは37-5日歳405-1-10平60 双重日禄でためる。 小・中・高等学校いじめ件数 文部科学省調査令和元年度612,496件、児童生徒1,000人当たりの<mark>認知件数</mark>46.5件→5年後30%~50%減

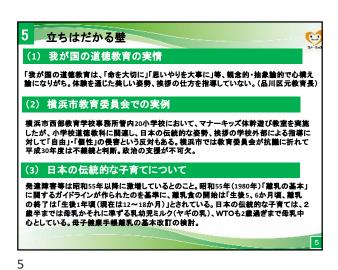
- ・ ハ・中子校育が干釈 独立行政法人日本スポーツ委員センター調査令和元年度 小学校83,642件、中学校91,805件→5年後30%~50%減
   ・ 発速障害 平成28年厚生労働金調査481,000人→5年後30%~50%減
   ・ アレルギー自治医科大調査医師診断乳幼児30万人~50万人、学齢期35万人→30~50%
   ・ 医療費 令和元年度 43.6兆円→5年後10%~30%減

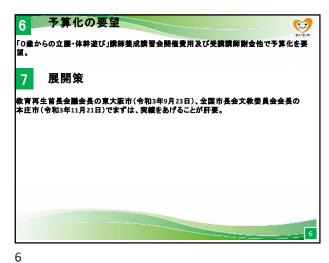
- 3 日本の子供・若者の憂慮すべき現況をこのまま放置して いていいでしょうか? (1992年学研『今「子供」が危ない』約30年経過)
- 子供の運動不足が深刻・・・「体幹」が鍛えられておらずケガする子供が増え
- → 子供の姿勢が悪い・・・姿勢の悪さは、健康、脳に影響する。
   → 今のままの食生活では、子供のアレルギー、不妊症、奇形児等悪化の一途。
   ・ 発達障害は増加の一途、いじめによる自殺、学級崩壊、ハ1プロブレム等。

#### マナーキッズプロジェクト 4

- ・ ア成26年10月公益社団法人マナーキッズプロジェクト。スポーツ庁後援 で成26年12月開始の早稲田大学庭球部小学生テニス教室が原点。平成 17年4月公益財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトを経 て、平成26年10月公益社団法人マナーキッズプロジェクト。スポーツ庁後援
- て、平成26年10月公益社団法人マナーキッスフロシェクト。スポーツ庁後援 国内47都道府県と台湾・マレーシアで80万人を越える園児・児童が参加。 マレーシア政府が関心。マレーシア政府関係者35名を対象に立腰・体幹遊 び講師養成講習金を開催し、同国内幼稚園・保育園教諭、保育士を指導す る計画であったが、令和2年2月マハティール首相退陣のため中断。 第一次安倍内閣、平成19年3月22日教育再生会議合同分科会において

3











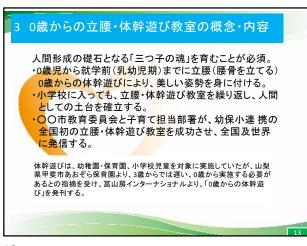




2 日本の子供・若者の憂慮すべき現況をこのまま放置していていいでしょうか?

● 子供の姿勢が悪い・・・姿勢の悪さは、健康、脳に影響する。
● 子供の運動不足が深刻・・・「体幹」が鍛えられておらずケガする子供が増えている。
● 発達障害は増加の一途。
● 今のままの食生活では、子供のアレルギー、不妊症、奇形児等悪化の一途。
● 精子の数が、日本の若者が世界で一番低い。

11 12







15 16

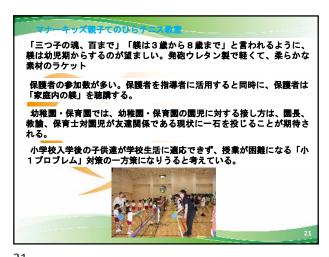








19 20









23 24

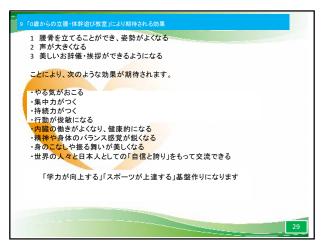


6 「病気、知らずの子育て」一忘れられた育児の原点
母乳中心、おしゃぶり、ハイハイの大切さ、かって世界で最もすぐれた日で本の子育て
西原研究所長 日本免疫病治療研究会会長 医学博士 西原克成
1977年(昭和41年)「スポック博士の育児書」
1978年 米国乳児ボツリヌス菌症事件。生のハチミツを一歳未満の赤ちゃんに与えて人工乳の赤ちゃんが死亡。母乳で育てていた子は緑便か下痢だけですみ、一歳以降の人工乳の子も死を免れる。調査の結果、赤ちゃんの腸は立歳半から3歳まではビビズス 菌以外のばい 菌はすべて白血球の取り込まれて全身を巡り発症するから、2歳半までは母乳中心にするようにとの結論。1980年米国はスポック育児法は大統領令で追放された。WHOも2歳過ぎまで母乳中心にするよう勧告。
ところが1980年(昭和55年)に、我国では昭和41年に始められたスポック育児法を13.4年かけて大々的に研究し発展させ、伝統育児法を徹底的に排除し抹殺。昭和55年の「母子健康手帳」の改訂で、はじめて「離乳の基本」に関するガイドラインが作られ、離乳食の開始は「生後5、6か月から」、子供によっては「4か月でもよい」、離乳の終了は生後1年頃、現在は12~18か月)とされた。発達障害、小児の狂暴、多動、自閉症等は昭和55年(1980年)以降に激増。

25 26



27 28



(1) 子供の体幹を鍛える研究―正しい委<mark>勢のもたらす教育的効果の検証</mark> 東京都教職員研修センター、早稲田大学スポーツ科学学術院「子供の姿 勢研究斑」・・・マナーキッズ体幹遊びが引き継ぐ 立位姿勢の測定

- 西東京の間と 頭頂の位置の変化、首の角度の変化、腰部弯曲の変化を調査。 頭と首の位置が後ろに動き、猫背傾向が改善された。

#### 座位姿勢の評価

「良い姿勢」の児童、生徒が増加。体幹が鍛えられ、姿勢を意識して生活することにより、座った姿勢に対しても気を付けて生活しようとする意識が働くのではないかと考えられる。

心理・行動側面のアンケート調査 小学校では、姿勢の良い児童は、自己抑制が高い傾向、中学校・高 校では、姿勢の良い生徒は、学校生活に満足し、学習が楽しいと感 じている傾向がある。

29 30

# (2) 「規律正しい児童は学力も大きく向上する」 「マナーキッズ」を「市民科授業に取り入れて」 品川区立浜川小学校

学力向上の手立てとして、学習規律、生活規律の徹底、朝、昼の15分 間の帯の時間や、パワーアップタイム(補修学習の時間)、習熟度学 習の工夫等。

全校朝会や児童集会はもちろん、授業の最初と最後の挨拶でも、言葉 を言ってから頭を下げて挨拶するという、マナーキッズで学んだ礼法 を様々な場面で実践し、定着を図っている。

その結果、CRT(学力定着度調査)では、平成21年度と平成22年度 をものを比較すると、21年度に実施していない1年生を除いた全学年で 大きく向上している。

規律の定着と学力向上について、中学年以上の児童を対象にしたアン ケート調査の結果でも、学習規律や生活規律が身についている児童、 または、意識している児童は身についていない児童、意識していない 児童より、この一年間で大きく学力が向上していることが分かった。

# - ツス酸音を取り込んでみて」 青森県八戸小学校

# 授業後、教師の意識・指導が変わった

今まで何でもないように感じていた自分や子供の行動・振舞いに対して、 「これていいのかな?」「相手は不快ではないのかな?」と考えるよう になった。

子供の様子を見てすぐしかるのではなく、「マナーはどうかな?」「迷惑をかけていないかな?」「自分がされたらどうかな?」というキーワードを子供に投げかけて、子供に考えさせるようになった。

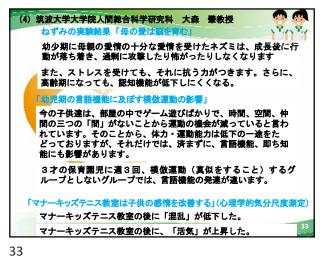
自分自身も、「子供の前できちんとした振舞いをしなくては」と意識す るようになった。

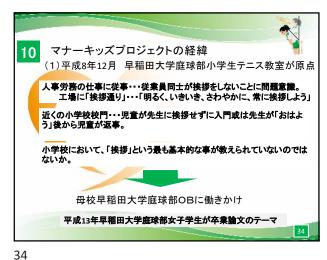
# 子供の意識が変わった。そして、行動として表現できるようになった

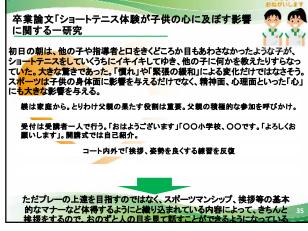
「礼儀・マナー」の押しつけではなく、テニスという楽しい運動の中で 「礼儀・マナー」を自然と体得できる。マナーキッズテニスように、身 体を動かすことで 身体が開放され、心も開放された「快」の状態であ ればなおさら効果がある。

授業の始めと終わりの挨拶では、教師の目をみての挨拶ができるように なった。「残心」「心のリボン」を意識した検疹をすると、落ち着いて 次の行動に移ったり、次の準備をしてから休み時間に入ったりする姿が。

31 32

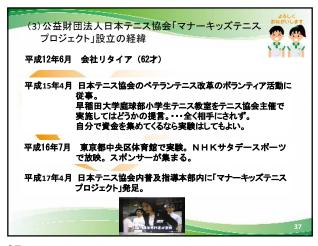


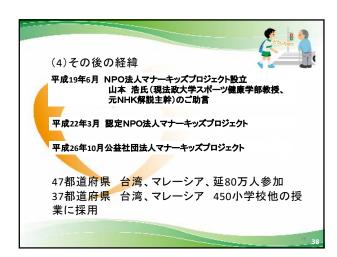




3 (2)マナーキッズと小笠原流礼法との接点 加賀前田家18代当主前田利祐氏との出逢い 三菱化成(現三菱ケミカル) 九州支店勤務の縁。 三菱グループ九州支店長の会「福金会」で前田氏と懇親。 絶えず背筋が真っ直ぐ、崩れない、立ち居振る舞いの良 さに感嘆。 平成14年11月 第18回早稲田大学庭球部小学生テニス教室において、 前田利祐氏が正しい姿勢、お辞儀・挟拶を指導。 子供の反応が全然違う。 平成16年7月 日本テニス教室でマナーキッズテニス教室を開催するので 引き続きの指導を依頼。 「自分は礼法の専門家ではない。小笠原流礼法鈴木万 亀子総師範を紹介して頂く。

36 35







たかが「姿勢・挨拶」、されど「姿勢・挨拶」
日本の伝統的美しい姿勢・挨拶を浸透させる事の困難な理由

1 数十年の間に三回(明治維新、敗戦、パブル)日本の伝統的な良さを捨ててきたこと。

2 家庭、学校、地域において、正しい姿勢(前向きな考えに繋がる)、挨拶、人のいやがることをしない等、当たり前のことをなおざりにしてきたこと。

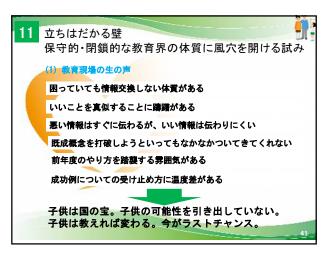
3 我が国の道徳に関する教育方針は、「命を大切にしよう」「思いやりを大事にしよう」等、物語の話を子供達に読ませるような観念的で、抽象論的になりがち。体験を通しての、正しい姿勢、挨拶を等を指導していないため、祖父母、親、先生、子供が正しい姿勢、挨拶の仕方を知らないこと。先生、児童、生徒間、親子が友達関係のため、躾ができないこと。

スポーツと礼儀で子供は変わる。知らないだけで子供は教えれば変わる。礼儀正しさのDNAは残っている。

太平洋のゴミ拾いから琵琶湖のゴミ拾いに!!

2020東京オリンピック・パラリンピックがラストチャンス

39 40



(2)全国で初めてマナーキッスな宝を登集として予算化した品川区教育長の声

今のマナーの悪さの根本原因は、戦後一貫して取り進めてきた我が国の教育 方針に根ざすものと言える

日本の教育学の歴史を考えるとき、どうしてもドイツの観念論が日本に入ってきた。その影響が強いのか、非常に形而上的、観念的であり、抽象論的であり、心構え論的。

「教育は他律による自律への促し」という原理がある。今の現場の教員からは「他律」そのものにアレルギーを起こす。「子供の持っている可能性を」「子供の意欲を大事にしよう」「子供の目線に立って」これらは否定のしようがない。

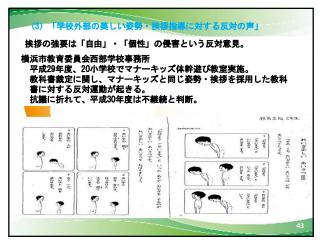
しかしそれに付随する具体的な戦略、方略、手段、方法を聞かれたとき、は たと現場は立ち止まってしまう。言葉のやり取りで終わってしまう。その結 果が今の子供達の公共心の低下、道徳性の低下につながっている。

このことを全く意に返さないで、「命を大切にしよう」「思いやりを大事に しよう」など、この世の中に適用しないような物語の話を子供達に読ませる それはそれで悪いとは言わないが、重要なことはそれを実現させるにはどう すればいいか。

マナーキッズのように具体的な行動を通して子供達にマナーや礼儀を自然な 形で伝えていくべき。これはある意味では他律である。 42

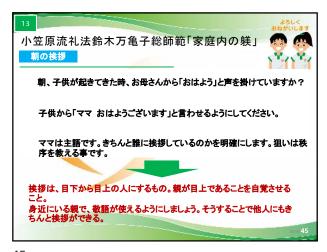
42

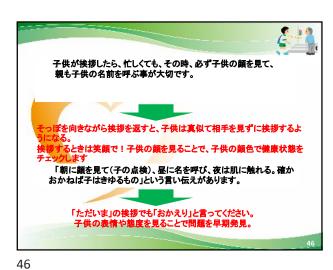
41

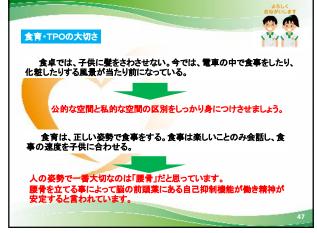


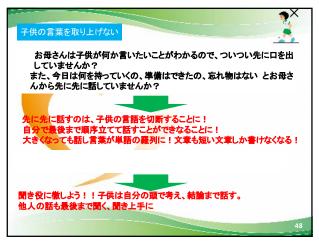
(1) 立腰(腰骨を立てる)教育との連携
「0歳からの立腰・体幹遊び」隣習会を全国幼稚園・保育園小学校教諭・保育士向けに開催
(2) 「0歳からの立腰・体幹遊び」と「食事道」の連携
「立腰・体幹」と「食事道」の連携
「立腰・体幹」と「食事道」(日本人に適した、米を中心とする教物や野菜中心の日本の伝統食を心がける)の子供・保護者に対する容蒙活動。
(3) 台湾、マレーシア展開による海外からの情報発信
平成30年1月、10月台湾台北市2小学校、4幼稚園、マナーキッズ隣舗養成議会開催。令和1年8月マナーキッズ大使台湾訪問。令和1年8月、マレーシアで開催。
(4) マナーキッズ大使を目指すプロジェクト(墨田区)
米道、孝道、香道、折紙の日本の伝統文化を体験中。日本人としての自信と誇り。
(5) レガシー共創協議会ヘルス&マナーコミユニティ
墨田区、茨城県常総市、北海道当別町。市区町村あげてマナーキッズスポーツ教室、マナーキッズ体幹遊びなどを実施。
(6) 日本体育大学と合意書締結

43 44

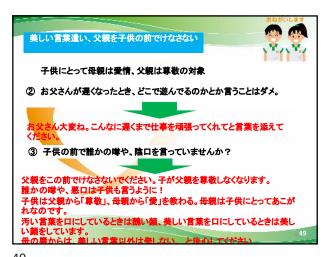


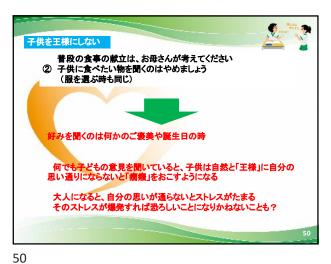


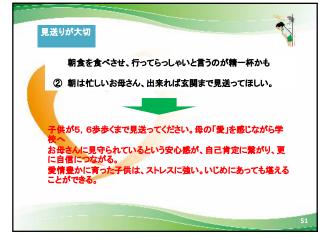


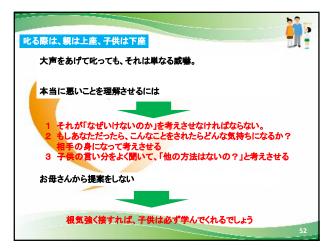


47 48

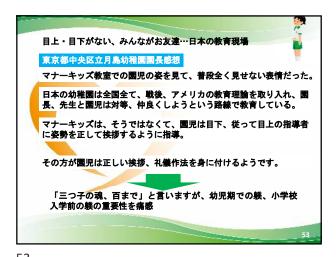






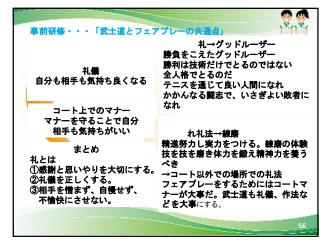


51 52









55 56



16 中学校・高校での指導
全国どこでも中学生のマナー指導に苦労。校長先生が演壇に立っても生徒は座ったまま。話を聞いていない生徒も多い。女子中学生の中には股を開いて座っているものもいる。中学生はある意味ではすでに大人の領域に入っている。中学生にどのようにマナーを教えるのかを考えていた。

品川区の7年生対象に2校開催した。一校は、何をいっても言うことを聞いてくれない。一列に並ばせるだけで5分位かかる。中学生には、マナーキッズは効果ないのではとあきらめていた。
もう一校はきちんと正しい姿勢、お辞儀・挨拶をする。そこでは、小学校の時にマナーキッズテニス教室を体験していた。幼稚園・小学校と変次マナーキッズ教室を授業として取り入れて行けば、中学生になった時点で正しい姿勢、お辞儀・挨拶を体得していると思う。中学生・高校生に美しい姿勢、お辞儀・挨拶を体得していると思う。中学生・高校生に美しい姿勢・お辞儀・大り遊びを指導し、中学生・高校生が園児、児童を指導する。中高生に日本人としての「自信」と「誇り」を持たせる一方策。

57 58





59 60

# 19 海外からの情報発信

#### 台湾

平成30年1月、10月台北市2小学校、4幼稚園で開催。マナーキッズ講師養成講習会の開催。令和元年マナーキッズ大使台湾訪問。台湾児童が第13回、第15回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦に参加。

#### マレーシア

令和元年8月マレーシアで開催。

マレーシア政府が関心。マレーシア政府関係者35名を対象に、「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会を開催し、同国内幼稚園・保育園教諭、保育士を指導する計画で予算化寸前までいったが、令和2年2月マハティール首相退陣のため中断。

20 メディア掲載内容
NHKテレビ27回、NHKラジオ4回、民放テレビ72回、民放ラジオ6回
海外テレビ1回、新聞雑誌361回(令和3年8月22日現在)

NHK事らしの中のニュース解説
2005年4月26日

テレビ東京たけしのニッポンのミカタ
2012年11月9日

61 62

# 21 受講者の感想文



最初は、あまり声を出していなかったけど少しずつ声を出して慣れようとしました。そして、テニスを始めるとんどん慣れていきました。このマナーキッズテニス教室では、礼儀作法の大切さやテニスを通していい人になれということと楽しさが分かりました。これからも、礼儀を重んじて他のことでも、マナーを守っていきたいと思います。

私は、マナーキッズテニスをやって、学んだことはたくさんあります。その中で二つ心に残りました。一つ目は、お辞儀をしたあとに相手と目を合わせるということです。私は、以前までお辞儀をした後は目も合わせないでいたので、このマナーキッズテニスでお辞儀をした後には、かならず目を合わせることを学びました。二つ目は、楽しくテニスをやるということです。何でも楽しくやっているとそのやっていることが楽しく感じて「もっとやりたい」「続けたい」など思って、興味を持てるようになるからです。

22 保護者からの手紙



子供はとても勉強になったと思います。日常生活でこれだけ挨拶を気にすることはなかったし、自分自身も知ってはいても実行していない現実がありましたので、もう一度見直すのによい機会になりました。スポーツ、学校、職場、日常、「あいさつ」はコミュニケーションをとる上で大切だと思います。今後もこのプロジェクトが発展し、全国に広まると良いと思います。

スポーツを通して礼儀を知り、人を敬う気持ちを持ち、大切な友をつくるこができたら、子供にとって素晴らしい財産になると思います。 子供達の様子をみて、マナー(挨拶)は、誰でも教えれば、必ずできるのだと感じました。勉強だけできれば、テニスだけ強ければというのではなく、正しいマナーを身につけた大人のなって欲しいと思います。

63 64

# 23 小学校校長・教諭からの手紙

今回の取り組みからほぼ一ヶ月経とうとしています。取り組み後の子供達の様子を見ていて実感として感じますのが、挨拶の仕方が確実に変わってきたということです。まず、自分から挨拶する子供が増えてきました。今までは、挨拶はよくできていても、教師の方からする挨拶に返事をする子が多かったように思います。それが今では、自分の方から挨拶をしなければと思い、元気よくしてくれるようになりました。

もう一つはしっかりと相手の目を見て挨拶をできる子供が多くなったことです。これも、今回の取り組みの大きな成果です。テニスの指導を通して、このことができていない子供に対しては「目を見て挨拶しましょう」と何度も繰り返しやり直させてくださっていました。なかには、しっかりと立ち止まりお辞儀をして挨拶をする子も出てきました。このような挨拶をされると、こちらも心から嬉しくなってしまいます。

2

24 感想文



小泉信三 「スポーツが与える三つの宝」

第三の、「友はある意味で日光に比すべきであろう。それは日の光と同じく、我々の心をあたため、我々の心にあるものを育てる」という言葉が一番心に残りました。また、「不可能を可能にするのは練習だという体験」と「フェアプレーの精神、それは正しく、いさぎよく、礼節をもって勝負することです」という言葉にも、かんめいを受けました。中学生になったら「テニス部」に入るので、今日習ったことを思い出しながらがんばりたいです。

#### 福田雅之助 「本気な人間になれ」

ぼくが、この文章を読んで、初めに思ったことは、「一球に精神と動作を集中し、一打に全精力を集中せよ」という言葉は、すごいなということです。ぼくは、練習などの時にベストを尽くしてやるように心掛けていますが、いつもこの一球にそこまで考えて打っていません。しかし、そこのところを直さないと進歩しないので、反省しなければと感じました。こらからの目標は、一打に全精力を集中し、この球はこのコートに入ると信じて打つことです。

65 66

#### マナーキッズ大使海外派遣と佐藤次郎

ぼくは、勉強したらテニスができないし、テニスを一生けん命したら、 勉強が大変です。それなのに佐藤次郎さんは、小学生なのにテニスも 勉強もがんぱったのは、高い目標があったからだと思います。ぼくは、 庭仕事もの手伝いで、石とりや、土をふるったことがあるけれど、植 木ぱちいっぱいの土を作るのに一時間以上かかりました。だから、広 いコートを作るのはどんなに時間がかかると思うとびっくりします。 ぼくたちの村には、テニスコートもあるし、テニスができる家族や友 達もいます。ぼくは、佐藤次郎さんよりめぐまれています。

ぼくは、日ごろから勝つことのむずかしさを感じている。佐藤さんが 世界ランキング三位まで登りつめられたのはなぜだろうかとこの話を 読んで考えてみた。佐藤さんは、ラケットがなければラケットだ。 コートがなければコートを作り、時間の限り一生けん命練習している。 そんなテニスに対する熱心な態度や練習が佐藤さんのよい結果になっ たことがわかった。強い人には、そのような人にはわからない努力が 必ずあるんだなぁと思った。佐藤さんの「強気を敬う」とはそういう 事だと思った。 67 68









71 72



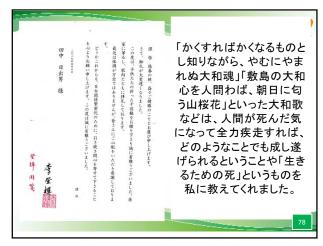






75 76





# 森 信三先生

(4)

80

人生は唯一回の大マラソンである。途中でくたばっては駄目。そして「死」が決勝点だから、「死」が見えだしたらひた走りに突っ走らなければならぬ

# 「実践人の家」の皆様方へのお願い

- ・「O歳からの立腰・体幹遊び」の市町村、園・小学校に対する働きかけ
- (正会員・賛助会員になって頂ければ幸甚です)
- ・寄付のお願い



79